

薬剤部だより No.181

山口大学病院薬剤部

2005.02.18

持参薬が不明な場合は薬剤部まで

入院患者さんが他施設で処方された薬を持ち込まれ、それを使用するケースが増えています。患者さんによっては理解不足のため、服用方法が間違っているケース、他施設からの紹介状に薬品名は記載されているが、用法・用量はないケースもあるようです。最近、持参薬 リウマトレックス(一般名:メトトレキサート)の指示ミスによる死亡事故も起きています。持参薬について不明な点がありましたら薬剤部へご相談下さい。

外来診察室端末から入院オーダ変更及び時間外オーダはできません

外来診察室端末から入院患者さんの処方修正・追加・削除及び時間外処方オーダを行うと、これに対応する出力用プリンタがないため、処方箋及びラベルが発行されません(時間内の新規入院処方オーダについては、データが薬剤部へ送られ、薬剤部にて処方箋とラベルが出力されるため問題ない)。このため、薬が病棟へ届かないとの声もしばしば聞かれます。入院患者さんの処方修正・追加・削除、時間外オーダを行う場合は、必ず病棟の端末を使用して下さい。

入院処方箋、注射薬処方箋がカラープリンタに残っていないか今一度確認を！

入院処方オーダの修正・追加・削除、時間外処方を行った場合、病棟によって処方箋がカラープリンタから出力されることがあります。

「オーダしたのに薬が届いていない」との連絡を受けることがありますが、処方箋を薬剤部へ送り忘れていないかどうか、今一度カラープリンタもご確認下さい。

自動錠剤分包機の包装紙に薬品名、分量が入ります

1 2 年間使用していた自動錠剤分包機が今年 4 月から更新されるのに伴い、分包紙各々に薬品名、分量が印刷されます。より安全な 1 包化調剤・投薬にまた一つ貢献できると考えています。

抗癌剤の混注依頼についてのお願い

入院の場合

製剤室では投与時刻に合わせ開始直前に抗癌剤を調製していますので、抗癌剤の混注依頼をされる場合、正確な投与開始予定時刻を入力して下さい。

時間指定のない場合は、自動的に朝 9 : 0 0 と指定されてしまいます。抗癌剤の中には安定性の悪いものもあり、また汚染を最小限に食い止めるためにも、開始予定時刻をオーダーして下さい。

患者さんの体調不良などによって混注を延期する場合は、予めその旨をフリーコメントで入力するか電話連絡をお願いします。

抗癌剤の混注につきまして、ご相談等ありましたら、製剤室(内線 2 6 6 6)までご連絡を。

外来の場合

外来癌化学療法を安全に行うため、外来患者さんの抗癌剤混注依頼の際は、プロトコルを予め提出いただいております。このことによって担当医との連絡回数も減少するなど業務の効率化も図れます。治療中プロトコルが変更となった場合のプロトコル提出もよろしくお願いします。

ミオカーム内服液の容器、容量が変わります

このたび患者さんの利便性向上、容器の軽量化及び破損防止のため、ミオカーム内服液の容器が 1 2 5m L ガラス瓶 から 3 8 0m L プラスチック容器 に変更されます。1 本当たりの容量が変わりますのでご注意ください(特に処方時 フリーコメントで本数を指定される場合)。従来品の在庫がなくなり次第、切り替える予定です。